

第1123号

AFN-1123

# Timely

1994年1月17日創刊 毎週発行  
葵総合経営センターだより週刊版

H28. 6 / 13 (月)

## 『「法人番号の利活用」を公開 業務の効率化に期待—国税庁』

国税庁は先般、今年1月から利用がはじまっている13桁の法人番号についてHP上で「法人番号の利活用」を公開した。

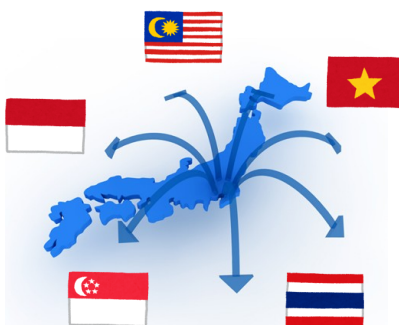
国税庁法人番号公表サイトでは、指定を受けた団体の1) 商号又は名称、2) 本店又は主たる事務所の所在地、3) 法人番号、の基本3情報を掲載。指定後に変更があった場合には更新するとともに変更履歴も公表する。細かい検索ができるほか、すべての法人の最新情報（月次の全件データ）や新規の指定・変更・登記の閉鎖といった変更情報（日次の差分データ）のダウンロードが可能。また、指定した簡単な条件に合致する法人等の基本3情報、指定した期間及び地域で抽出した法人等の更新情報を取得できるWeb-APIも提供されている。これらを活用すると、法人番号のみの入力での他の情報を自動入力できるようになる、番号をキーに取引先ごとの集計が容易になるなど、入力業務や会計業務が効率化される。また、国際的な流通における共通の企業コードとすることで電子商取引のコストが削減されるほか、電子タグへの記録により物流が効率化されると期待される。

行政機関においては、厚生労働省の「女性の活躍推進企業データベース」や、総務省の「統一資格審査・調達情報検索サイト」などすでに活用が始まっている。



## 『アセアン進出1万1328社 ベトナムは2500社超で3位』

帝国データバンクが発表した東南アジア諸国連合（ASEAN）に進出している日本企業調査結果によると、進出企業総数は1万1328社だった。進出先では、トップがタイで4788社、2位がシンガポールで2821社、3位がベトナムで2527社、4位がインドネシアで2021社、5位がマレーシアで1672社など。「アジア最後のフロンティア」として注目を集めているミャンマーは286社だった。ASEAN全域を対象とした調査（今年4月末時点）は今回が初めて。首位のタイは、人件費上昇や2011年の大洪水があったが、自動車中心に産業集積が厚く「他と比べて進出しやすい土壌が形成されている」と分析。シンガポールは政情やインフラが安定していて進出が顕著だとしている。ベトナムは、単独調査した12年2月の調査から進出企業数が63.9%も増加。業種別では、製造業が4925社で最多、2位は卸売業の2825社で、両方で約7割を占めた。国別の業種細分類では、インドネシアは自動車部品・付属品製造業が64社、タイとマレーシアは電気機械器具卸売業がそれぞれ165社、75社で、いずれも製造業がトップ。ベトナム、フィリピン、ミャンマーでは「受託開発ソフトウェア」などの情報通信技術関連が首位だった。



出典元：日本中小企業経営支援専門家協会(JPBM) ※本記事・内容の無断転載を禁じます

21世紀を創造する中小企業のベストパートナー

〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目14番22号

## 葵総合経営センター

(葵総合税理士法人)

TEL : (052) 331-1768 FAX : (052) 332-5282

『Homepage』 <http://www.aoi-cms.com/> 『e-mail』 [aoi@aoi-cms.com](mailto:aoi@aoi-cms.com)